

導入した連絡帳アプリコドモンにより、紙ベースの記録業務からの移行による利点が明確になりました。具体的には、以下のような点が挙げられます：

## 1, 業務効率化と時間節約

同じ情報を繰り返し記入する手間がなくなりました。コピー&ペースト機能により、作業時間が大幅に削減されました。

利用者が帰宅後でも連絡帳を作成できるようになり、時間の制約がなくなりました。これにより、業務時間の柔軟性が向上しました。

## 2, ファイリングやファイルの保管の不要化

紙ベースの連絡帳業務ではファイリングやファイルの保管場所が必要でしたが、コドモン導入によりこれらの手間が省かれました。結果として、職員の負担が軽減されました。

## 3, 利用者支援の向上

利用者一人ひとりに関わる時間が増加し、支援が充実してきました。これにより、トラブルや危険に対する未然防止や対応がより効果的に行えるようになりました。

業務に費やす時間が減り、利用者支援に充てられる時間が増えたことで、新たな企画や支援策を検討する時間も増えました。

このように、ソフトウェアの導入により業務プロセスが効率化され、職員の負担が軽減されると同時に、利用者支援における質の向上と新たな取り組みの可能性が拡大しました。